

2. 北島局では何を観測しているの？

自動車の排気ガスの中には、空気のごれとなる物質が含まれています。そのうち、北島局では、浮遊粒子状物質と窒素酸化物の2種類の物質の濃度を観測しています。また、これらの物質の濃度と関係のある気象（風や雨など）についても観測しています。

観測したデータは、今後の環境対策などに役立てます。翌日にはデータをインターネットで公開しているので、チェックしてみてください。
(アドレスはP.4へ)



物質名	説明
浮遊粒子状物質 (SPM)	・ 空気中に浮遊する $10 \mu\text{m}$ ($1 \mu\text{m}$ は 1mm の $1,000$ 分の 1 の大きさ) 以下の小さな粒子のことです。 ・ 工場や自動車から発生するものの他に、土の巻き上げなどがあります。
窒素酸化物 (NO_x)	・ 主に物の燃焼によって発生し、酸性雨や光化学スモッグの原因となります。 ・ 主な発生源は、工場や自動車などがあります。 ・ 一酸化窒素 (NO) と二酸化窒素 (NO_2) を合わせて窒素酸化物 (NO_x) といいます。

出典：環境白書より抜粋



豆知識：春頃、中国大陸から黄砂が飛んできますが、これも浮遊粒子状物質に入ります。